

JF大分

水産おおいた

発行元 大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>

令和3年度 漁業就業者

～過去最多の昨年と同数76人～



県は11日、令和3年度における農林水産業の新規就業状況を発表した。水産業では過去最多となった昨年と同数の76人が就業したほか、林業でも過去最多の113人、農業は280人が就業した。この結果、農林水産業全体でも「おおいた農山漁村活性化戦略2005」を策定して以来最多の469人となった。

水産業における過去5年間の就業実績は367名となり、目標値を3%上回った。このうち自営は248人(68%)、女性20人(5%)であった。

区分	水産業				参考		合計	
	小計	自営	雇用	(女性)	農業	林業		
平成29年度	71	48	23	(6)	237	94	402	
平成30年度	71	52	19	(0)	248	105	424	
令和元年度	73	54	19	(4)	257	105	435	
令和2年度	76	47	29	(6)	290	102	468	
令和3年度	76	47	29	(6)	280	113	469	
5年間合計	実績	367	248	119	(21)	1,312	519	2,198
	目標	357	—	—	—	1,280	498	2,135
	達成率	103%	—	—	—	103%	104%	103%

多額の償却や新たな引当が発生 コロナ禍に燃油高騰も重なり 令和3年度は厳しい決算状況

第1回・第2回理事会を開催

6日、令和4年度の第1回理事会を開催した。

冒頭、中根組合長は「昨年度は厳しい決算状況であり、今後は役職員全員で努力して行きたい。一方、1月22日発生の地震

対策として行政の支援が得られること、4月29日付けで山本前組合長の叙勲が決まったこと

など嬉しいニュースもある」と挨拶した。

第1号議案「組合員の異動につ

いて」、第2号議案「令和4年度補助事業の取扱いについて」、第3号議案「令和4年度・コンプライアンスプログラムの策定について」、第4号議案「令和4年度・内部検査実施計画について」、第5号議案「令和4年3月末資産自己査定及び資産自己査定に基づき貸倒引当金計上について」、第6号議案「第20事業年度令和3年度決算概要について」及び第7号議案「令和3年度



・常例検査改善状況報告書の提出について」の7議案を上程し、いずれも承認された。

また、「余裕金の運用状況報告について」及び「令和3年度下半期・内部検査実施報告について」報告した。

第5号議案では、養殖業者の倒産により6千万円を超える償却が発生したこと、また、4千万円を超える新たな貸倒引当が必要となった地区があることが報告された。

第6号議案では、地区別、事業別の決算概要が報告された。燃油の急激な高騰に対して価格の据え置きを行ったこと等から購買事業で利益が得られなかったこと、長引くコロナ禍で操業を控える組合員もおり、経済事業

が全般的に低調であったことが報告された。多額の償却と貸倒引当に加え経済事業が低調であったことから、当期利益は9千万円超の赤字を計上した。なお、これを踏まえ、9日に第1回支店長会議を実施し、以降に令和4年度事業計画のヒアリングを行った。

16日には第2回理事会を開催した。

第1号議案「組合員の異動について」、第2号議案「令和4年度・余裕金の運用方針及び運用方法について」、第3号議案「第20事業年度令和3年度・業務報告書及び附属明細書について」、第4号議案「公共事業用地の取得に伴う土地の売却について(大分支店)」及び第5号議案「増資について」の5議案を上程し、いずれも承認された。

第5号議案では、4月の報酬から定額を増資している理事に加え、監事も5月から取り組みを開始することとなり、役員による増資の取り組みが正式に決まった。運営委員への拡大については、6月1日に予定している運営委員長会で説明する方針。

令和4年度事業計画等を含む総会提出議案は、6月1日の第3回理事会で審議する。



九州・山口地区
漁協三連会長
宇戸田会長

右に掲載した福岡ブロック会議の終了後、同会場において九州地区の会長会が開催された。山本勇大分県漁協前組合長の退任に伴い不在となっていた漁連部会の部会長に宮崎県漁連

九州・山口地区漁協三連会長会 会長に宇戸田氏（宮崎県漁連会長）

の宇戸田定信会長が、副部長に佐賀有明海漁協の西久保敏組合長が互選された。宇戸田氏は九州・山口地区漁協三連会長会の会長に、西久保氏は同監事に就任した。なお、三連会長会の副会長は信漁連部会長の久保田正九州信漁連経営管理委員の部会長が、監事は共済部会長の矢部廣一宮崎県漁業共済組合が引き続き勤める。

九州・山口地区漁協三連会長会

- 会 長 (漁連部会長) 宇戸田定信氏
～宮崎県漁連会長～
- 副 会 長 (信漁連部会長) 久保田 正氏
～九州信漁連経営管理委員会会長～
- 監 事 (共済部会長) 矢部 廣一氏
～宮崎県漁業共済組合長～
- 監 事 (漁連副部会長) 西久保 敏氏
～佐賀県有明海漁協組合長～

2022年度 漁連(漁協)・信漁連会長 福岡ブロック会議開催



全漁連 岸会長

標記の会議が12日、福岡県水産会館で開催された。冒頭、全漁連の岸会長は「昨年度の漁業環境は経験のない厳しいものであり、コロナの長期化で魚価が低迷し、漁協経営にも大きな影響があった」と等と挨拶した。

協議事項は、21年度の決算について、22年度の事業計画及び第6期中期経営計画の見直し、指導賦課金、監査負担金及び水産物消費拡大負担金について並びにその他通常総会に付議する事項について説明があり、原案を了承した。
また、昨年4月13日の「アールプス処理水海洋放出の方針決定に強く抗議するJF全漁連会長声明」に対して、本年4月5日に萩生田経産大臣から政府の考え方が示されたとして、改めて報告があった。ここでは、ALPS処理水の処分に関する政府の基本的姿勢として、①風評影響については最後まで責任を持って対策を講じる、②全国の漁業関係者を含む関係者の理解を得る、③全国の漁業者が将来にわ

安心して漁業を継続できるように超大型の基金を創設する、の3点が示された。
岸会長は「原則として絶対反対であると発言した」としつつ、③の超大型の基金については、「風評被害対策基金とは別建て」「具体的対応方向は生産対策と流通対策」「規模・期間は処理が完了するまで毎年積み立て、実施されること」としたいとの案が示された。会員からの追加要望はなかったが、具体的対応方向の中に担い手確保対策を含めるなど、当組合からの意見があれば提案したい。
最後に、岸会長から3期9年に亘り勤めてきた全漁連の会長職を退任するとして、お礼の挨拶があった。



ロケット打ち上げ事前協議を開催

令和4年度のロケット打ち上げに関する事前協議が17日、県水産会館において行われた。文科省研究開発局、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、三菱重工(株)、大分県漁業管理課並びに県漁協の本店及び関係4支店が出席した。

大分県の高野審議監、文科省の福井宇宙開発利用課長及び大分県ロケット打上げ対策委員会の大河会長の挨拶ののち議事に入った。
議事1「ロケットの打上げについて」では、令和3年度ロケット打ち上げ結果について、種子島宇宙センターから打上げたH-IIAロケット4号機及び45号機、並びに内之浦宇宙空間観測所から打上げた観測ロケットS-520-31号機、イプシロンロケット5号機の合計4機の打上げ結果について、JAXAより詳細に説明があった。また、4年度ロケット打ち上げ計画(上期分)につ

いて、内之浦宇宙空間観測所から打上げ計画の観測ロケット2機並びにイプシロンロケット6号機の合計3機の打上げについて、JAXAより詳細に説明があった。
議事2「漁業対策について」では、種子島周辺漁業対策事業の3年度実績及び4年度計画等について説明があった。以上の議事はすべて意義なく承認された。
なお、H3ロケットの開発状況について、JAXAより詳細に説明があり、種子島宇宙センターからの打上げ計画が分かり次第、再度2回目の事前協議を行いたい旨の申し出を了承した。

令和4年度 第1回理事会 定時社員総会 大分県漁船リース協会

(一社)大分県漁船リース協会(岡田敏弘会長)は24日、令和4年度の第1回理事会、定時社員総会を開催した。
総会では、第1号議案「令和3年度事業報告及び収支決算」、第2号議案「令和4年度事業計画及び収支予算」をいずれも承認した。
令和3年度補正予算にかかる4年度事業の申込借受者として、杵築支店の小型底びき網漁業者1名(新船)、保戸島支店のまぐろはえなわ漁業者2名(中古船リースバック)を選定した。4年度は、2年度補正予算にかかる一本釣り漁業者(中古船、6月完成予定)と合わせ4名にリース予定となる。

水研だより

就任のご挨拶

大分県農林水産研究 指導センター 水産研究部長

伊藤 龍星



皆様こんにちは。4月1日付で大分県農林水産研究指導センター水産研究部長となりまして伊藤龍星と申します。

かねてから、大分県漁業協同組合の役員や組合員の皆様方には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。さて、令和4年度がスタートして3カ月近く経ちました。新型コロナウイルスも発生して2年以上経過しましたが、いまだ各方面へ影響を及ぼしており、さらにはウクライナ情勢や円安による原油をはじめとする生活物資の高騰など、予期せぬ事柄が次々に起こりますので、気を抜けない毎日をお過ごしのことと存じます。

そのようななか、当水産研究部としては、技術面で大分県の水産業に少しでも貢献できるように、北部水産グループとともに日々、調査・研究に取り組みしております。一端をご紹介しますと、昨年度、歴史的に不漁となったモジヤコ(ブリの稚魚)漁ですが、幸い今年は今のところ順調に推移しています。しかし、いつまた不漁に?の心配があります。世界的な気候変動への対応や、安定した周年出荷の実現、SDGsの観点からも、人工種苗の必要性は今後確実に高まります。早期に人工種苗の生産技術を確立できるように研究を行ってまいります。また、全国生産1位(令和2年)を誇る養殖ヒラメをはじめとした養殖魚の疾病予防や治療法の提案、環境負荷を軽減しながらの赤潮に強い養殖振興、新魚種キジハタの種苗生産技術開発、ヒジキほか海藻類の増養殖や磯焼け対策などにも取り組んでまいります。お仕事をされるなかで、気になったことやご意見、ご要望などありましたらお気軽にお寄せ下さい。今年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ご活用下さい 水産研究部のホームページ 漁海況情報、赤潮発生情報など 役立つ内容が満載です https://www.pref.oita.jp/soshiki/15090/

別府湾南部海域におけるまきえ船釣り等の禁止区域 (投錨禁止) Map showing restricted zones for fishing and anchoring in the southern part of Beppu Bay. Includes text about conditions for fishing and necessary precautions.

知事許可漁業の制限措置・申請期間・有効期間に異議なし 別府湾南部海域における「まきえ船釣り等」を承認

第22期 第9回 大分海区漁業調整委員会

23日、県水産会館5階研修室において、第9回大分海区漁業調整委員会が開催された。第1号議案「知事許可漁業の制限措置及び申請期間並びに許可の有効期間について」に関し、知事は委員会の意見を求めた。また、第2号議案「別府湾南部海域における「まきえ船釣り等」の承認について」に関し、規定に基づく承認申請が委員会宛なされた。

第1号議案の対象となる知事許可漁業と(背景)は、いか棒受け網漁業(漁業者からの要望)、小型機船底びき網漁業手練第2種自家用餌料びき網漁業、機船船びき網漁業、ごち網漁業、固定式刺し網漁業及び押網漁業(以上、許可の有効期限満了)であり、海区委の意見を聴き公示される。全て異議のない旨答申することにした。なお、小型機船底びき網漁業について、「操業の実態のない者に許可していることは是非」が質され、操業する意志を確認して許可しているが、漁業法改正により漁獲量等の報告義務が生じたとの説明があった。また、機船船びき網漁業の説明に対し、「海底を曳いたら悪いのか」、「底から何ミリ空ければ良いのか」

令和4年度 通常総会 大分県資源管理協議会 県資源管理協議会(会長:大屋寛)県水産振興課長)の令和4年度通常総会が11日、県水産会館5階研修室で開催された。第1号議案、令和3年度事業実績及び収支決算、第2号議案「令和4年度事業計画及び収支予算」及び第3号議案「令和4年度負担金(案)」をいずれも承認した。

か、「それをどの様に確認するか」などの執拗な質問があり、審議が一時滞った。第2号議案は、6月1日から委員会指示により「まきえ船釣り等」が禁止される別府湾南部海域において、告示のただし書きに定める海域(条件付きまきえ船釣り等禁止区域)での操業を認める船舶を承認するもの。当初に申請のあった348件を承認した。 【注】漁業許可を受けた者は、資源管理に関する自主的な取組の実施状況、漁獲量、操業日数、漁場の区域その他の漁業生産の実績等を知事に報告する。(中型まき網漁業は毎月、その他の許可は1年間分の月別結果を翌年の1月31日まで) ▼123号参照

水産流通適正化法が施行されます！ 適切な対応をお願いします

「特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律」(水産流通適正化法)が本年12月1日に施行されます。この法律は、違法に採捕された水産動植物の流通を防止するため、取扱事業者間における情報の伝達並びに取引記録の作成及び保存等の措置を講ずることにより、特定の水産動植物等の国内流通の適正化等を図り、もって違法な漁業の抑止及び水産資源の持続的な利用に寄与し、漁業及びその関連産業の健全な発展を目的としています。



令和4年12月からアワビとナマコに漁獲番号を付けることが義務付けられます。

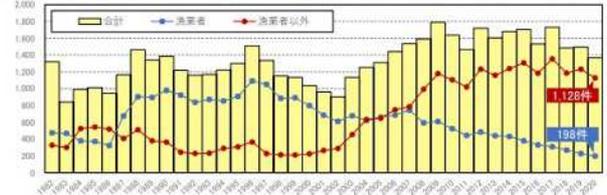


違法に採捕された水産物の流通を防ぐため、採捕事業者、取扱事業者間での漁獲番号等の伝達、取引記録の作成・保存、輸出入時の証明書添付などが義務付けられます。

詳しくは水産庁Webサイトへ
水産庁 水産流通適正化法

密漁の発生状況

近年、漁業者による違反採捕が減少している一方、漁業者以外による密漁が増加傾向にあります。



「水産流通適正化制度とは」

- アワビ、ナマコ※(国内において違法かつ過剰な採捕が行われるおそれが大きい魚種(特定第一種水産動植物))について、採捕事業者や加工・流通事業者等の取扱事業者は
- ① 行政機関への届出
 - ② 漁獲番号その他伝達事項の伝達
 - ③ 取引記録の作成・保存(3年間)
 - ④ 輸出時に国が発行する適法漁獲等証明書の添付が義務づけられます。
- (※:令和7年からシラスウナギにも適用)

お問い合わせ先 水産庁加工流通課 ☎03-3502-8111 (内線6683)

水産庁の関係ホームページはこちらから→

<https://www.ifa.maff.go.jp/i/kakou/tekiseika.html>

おさかなランドOPA店「お買い得情報」

おさかなランドOPA店は曜日ごとにテーマを決めた「お買い得商品」の提供をはじめた。火曜日の井ぶりday! 金曜日はフライデー! など楽しみなテーマが並ぶ。水曜日の「朝獲れ新鮮水曜日!」は先行して始まっている人気のイベント。鶴見市場の新鮮な魚を待っているファンも多い。このほか、副店長の康史さんのおすすめday! や雨の日限定のお買い得商品も楽しみだ。筆者も火曜日の漬井と金曜日のミックスフライをいただいたが、とても旨かった。多くの皆さんのご利用をお願いします。



金曜日のミックスフライ(税込500円)



火曜日のボラの漬井(税込322円)

月曜日	刺身3点盛りday! 数量限定『特別価格』にて販売 通常¥598 → 特価¥498 (¥46税込) (¥45税込)	月曜日のサービス品 MONDAY SPECIAL
火曜日	井ぶりday! 数量限定『特別価格』にて販売	火曜日のサービス品 TUESDAY SPECIAL
水曜日	朝獲れ新鮮水曜日! 鶴見市場より新鮮なお魚を販売 ※昼頃入荷予定	水曜日のサービス品 WEDNESDAY SPECIAL
木曜日	お寿司6貫day! 数量限定『特別価格』にて販売 通常¥498→特価¥398 (¥46税込) (¥43税込)	木曜日のサービス品 THURSDAY SPECIAL
金曜日	Fridayはフライデー! 数量限定『特別価格』にて販売 ・家でもフライデー!セットご準備しております。 480円 (¥518税込)	金曜日のサービス品 FRIDAY SPECIAL
土曜日	やっちゃん『おすすめ』day! 康史さんおすすめの商品が... 数量限定『特別価格』にて販売	土曜日のサービス品 SATURDAY SPECIAL
日曜日	亀ちゃん『おすすめ』day! 亀井君おすすめの商品が... 数量限定『特別価格』にて販売	日曜日のサービス品 SUNDAY SPECIAL
Rainy Chance! 雨の日は...良い事があるかも! 雨の日のお買得品		

大分県産魚の日
5/27 (金)
春の旬魚フェア!
 マダイ
 カマス
 イサキ
 旬の魚が目を押し!

「県産魚の日」・・・5月は第4金曜日の27日に「春の旬魚フェア」を開催。鶴見産のイサキ、赤カマス、エイチガニや大分産のカワハギ、マダイなどを販売した。カマスの炙りの刺身を試食したお客様からは「脂があって旨い! 炙りで初めて食べたけど美味しい! 毎月楽しみにしています!」等の声もいただいた。



次期 大分県農林水産業振興計画の策定に向けた調査にご協力下さい。

現在の「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」は、24年度に最終年度を迎え、25年度から新たな計画がスタートする予定です。この次期計画は、今後10年間の水産行政の方向性を決める非常に重要な計画となります。

このため県は、漁協組合員の皆さん（特に青年部や女性部、漁業士など）と漁協職員が感じている課題や将来ビジョンを、広く聞かせて欲しいとしています。

調査は、普及員による聴き取りが主体となりますので、皆様のご協力をお願いします。



サカナをたべれば幸福が見えてくる

ウオシメシ

惜別! 錦寿司

新聞記事に目を疑った。佐伯の「錦寿司」破産、である。ネタが大きいことで有名で、有名人の来店も多かった。昔のことだが、東京で活躍していた毒舌レポーター(故人)と居合わせたことがある。静かに楽しんでいた姿を思い出す。

「大きけりゃいいんか」と悪口を言う向きもあったが、私は味も好きだった。先月号で「竹寿司」を紹介した際、予約貸し切りで泣いたと書いたが、泣きながら向かったのが「錦寿司」。今思えば、閉店の1週間前で、写真はその時の握り。遺影になってしまった。

|| 編集後記 ||

コロナが初めて報道された時、中国の一部地域とクルーズ船の問題と感じた方も多かったかも知れない。ところが瞬く間に世界に感染が拡がり、地球全体の脅威になった。ウクライナ侵略もしかり。地域の問題にとどまらず、エネルギーや農水産物の供給などを通じて世界経済に大きな打撃を与えている。いずれの事象も、グローバル経済を改めて実感させた。

当漁協へ影響も甚大だ。コロナ禍の長期化に燃油高騰が追い打ちをかけ、経済活動が停滞し厳しい決算となった。公認会計士監査への移行を目前にし、4年度計画には減損処理も提案する。役員員一丸となり、経営改善と事業の活性化に取り組みたい。